

北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻
美術・デザインコース
平成30年度 入学試験問題
(岩見沢校 前期日程)
検査A「構想デッサン 1」検査問題

問題

与えられたモチーフと自画像を画面上に自由に構成し、デッサンしなさい。

条件

画面の縦位置、横位置は自由とする。

北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻
メディア・タイムアートコース
平成30度 入学試験問題
(岩見沢校 前期日程)
検査A「構想デッサン 2」検査問題

問題

別紙の物語を読んで、以下の問いに答えなさい。

① 物語の続きを自由に考えて、そのあらすじを、400字以内で与えられた原稿用紙に記しなさい。

② ①で考えた物語の印象的な場面を挿絵として、与えられたイラストボードに描きなさい。

※挿絵には、必要であれば文字の情報を入れてもかまいません。

※イラストボードの縦横は自由に決めること。

赤いろうそくと人魚

人魚は、南の方の海にばかり棲んでいるわけではありません。北の海にも棲んでいたのです。

北方の海の色は、青うございました。あるとき、岩の上に、女の人魚があがって、あたりの景色をながめながら休んでいました。

雲間からもれた月の光がさびしく、波の上を照らしていました。どちらを見ても限りない、ものすごい波が、うねうねと動いているのであります。

なんという、さびしい景色だろうと、人魚は思いました。自分たちは、人間とあまり姿は変わっていない。魚や、また底深い海の中に棲んでいる、気の荒い、いろいろな獣物などくらべたら、どれほど人間のほうに、心も姿も似ているかしのれない。それなのに、自分たちは、やはり魚や、獣物などといっしょに、冷たい、暗い、気の滅入りそうな海の中に暮らさなければならぬというのは、どうしたことだろうと思いました。

長い年月の間、話をする相手もなく、いつも明るい海の面をあこがれて、暮らしてきたことを思いますと、人魚はたまらなかつたのであります。そして、月の明るく照らす晩に、海の面に浮かんで、岩の上に休んで、いろいろな空想にふけるのが常でありました。

「人間の住んでいる町は、美しいということだ。人間は、魚よりも、また獣物よりも、人情があつてやさしいと聞いている。私たちは、魚や獣物の中に住んでいるが、もっと人間のほうに近いのだから、人間の中に入って暮らされないことはないだろう。」と、人魚は考えました。

その人魚は女でありました。そして妊娠でありました。……私たちは、もう長い間、このさびしい、話をするものもない、北の青い海の中で暮らしてきたのだから、もはや、明るい、にぎやかな国は望まないけれど、これから産まれる子供に、せめても、こんな悲しい、頼りない思いをさせたくないものだ。……

子供から別れて、独り、さびしく海の中に暮らすということは、このうえもない悲しいことだけれど、子供がどこにいても、しあわせに暮らしてく

れたなら、私の喜びは、それにましたことはない。

人間は、この世界の中で、いちばんやさしいものだと聞いている。そして、かわいそうなものや、頼りないものは、けっしていじめたり、苦しめたりすることはないと聞いている。いったん手づけたなら、けっして、それを捨てないとも聞いている。幸い、私たちは、みんなよく顔が人間に似ているばかりでなく、胴から上は人間そのままなのであるから——魚や獣物の世界でさえ、暮らされるところを思えば——人間の世界で暮らされないことはない。一度、人間が手に取り上げて育ててくれたら、きっと無慈悲に捨てることもあるまいと思われる。……

人魚は、そう思ったのでありました。

せめて、自分の子供だけは、にぎやかな、明るい、美しい町で育てて大きくしたいという情けから、女の人魚は、子供を陸の上に産み落とそうとしたのであります。そうすれば、自分は、ふたたび我が子の顔を見ることはできぬかもしれないが、子供は人間の仲間入りをして、幸福に生活をすることができるであろうと思ったのです。

はるか、かなたには、海岸の小高い山にある、神社の燈火がちらちらと波間に見えていました。ある夜、女の人魚は、子供を産み落とすために、冷たい、暗い波の間を泳いで、陸の方に向かって近づいてきました。

北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻

書画・工芸コース

平成30年度 入学試験問題

(岩見沢校 前期入試)

検査A「静物デッサン」検査問題

問題

与えられたモチーフを机上に自由に配置し、デッサンしなさい。

※ 画面の縦・横はどちらでも良い

北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻
書画・工芸コース

平成 30 年度 入学試験問題
(岩見沢校前期日程)

検査 A [臨書] 検査問題

【問題Ⅰ】 次の課題を、半紙に臨書しなさい。

粘葉本和漢朗詠集

「ときはなるまつのなたてにあやなく
もかゝれるふぢのさきてちるかな 貫之」

【問題Ⅱ】 次の課題を、画仙紙半切に臨書しなさい。

晋祠銘「世移千祀。而遺烈猶存。玄化曠而無名。」

【問題Ⅲ】 次の課題を、画仙紙半切に臨書しなさい。

美人董氏墓誌銘「庭芳蘭蕙。既而來儀魯殿。出事梁臺。」

【問題Ⅳ】 次の課題を、画仙紙半切に臨書しなさい。

王羲之発瘡帖「発瘡。比日疾患。欲無頼。未面邑々。反不具。」

【問題Ⅴ】 次の課題を、画仙紙半切に臨書しなさい。

木簡「平望侯長刑珍附」

※ 与えられた課題を使うこと。

【問題 I】

あまはなるふたのたふそまあわん
もかむるふちのあまてちるふし

【問題II】

而餘鍊兩來淚世
移千祀而遺烈經
存玄化曠而每名

【問題Ⅲ】

采砌炳瑾瑜
蓮芳蘭蕙
既而來儀魯
殿出事梁
臺搖環珮
於芳林
絃綺
續於春景
投壺工
鶴飛

【問題IV】

友二修心自修
未回之友方修心
家

【問題V】

手型
後
美
劫
珠
附
馬
介